

## 令和６年度（２０２４年度）ネットいじめ等早期対応推進事業の実績報告について

## 学校安全・安心推進課

## １ 事業の概要

## （１）目的：

進展するネット社会における生徒指導上の諸課題、とりわけSNS上でのいじめ等への対策として、「いじめ匿名連絡サイト（スクールサイン）」を全県立学校に導入し、ネットいじめやネットトラブルに対する学校の取組を支援する。

## （２）対象校及び対象者数：すべての県立高校、県立中学校及び特別支援学校の約３万人を対象

## （３）導入システム：「いじめ匿名連絡サイト（スクールサイン）」（アディッシュ株式会社）

## （４）システムの仕組み：

県内を１１地域（菊池・山鹿・八代等）に分けたQRコード及びURLを作成し、各学校に周知している（年度ごとに変わる）。生徒は、QRコードまたはURLから、スクールサインのサイトにアクセスし、学校名を選択したのち投稿を行う。生徒が、いじめ等に気づき、匿名で投稿した通報内容を、委託事業者が１日数回チェックする。投稿内容は翌日までに県教育委員会へ連絡され、緊急対応（希死念慮等の記述）が必要な投稿については、別途連絡が入り、関係機関と連携する。

いじめ問題への早期対応及び匿名でのいじめに関する情報提供等を目的として運用を開始した本システムであるが、生徒への周知が進み、学校生活に対する悩みや不満、教職員に対する要望等、生徒がＳＯＳを発するツールとしての活用が進んでいる。

## ２ 事業の結果

## （１）令和６年度投稿件数

|                  | 投稿総数          | 内 訳 １       |            |              |               |           |
|------------------|---------------|-------------|------------|--------------|---------------|-----------|
|                  |               | いじめ         | 悩み相談       | 不満           | その他           | いたづら      |
| １学期分：４月から８月までの計  | ３９０<br>(+153) | ３６<br>(+26) | １９<br>(+8) | ６２<br>(+9)   | ２６８<br>(+106) | ５<br>(+4) |
| ２学期分：９月から１２月までの計 | １５６<br>(+81)  | ５<br>(-2)   | ２<br>(-2)  | ３６<br>(+16)  | １１２<br>(+68)  | １<br>(+1) |
| ３学期分：１月から３月までの計  | ５６<br>(+15)   | ０<br>(-1)   | ２<br>(+1)  | １４<br>(±0)   | ３８<br>(+13)   | ２<br>(+2) |
| 合計               | ６０２<br>(+249) | ４１<br>(+23) | ２３<br>(+7) | １１２<br>(+25) | ４１８<br>(+187) | ８<br>(+7) |

１ 投稿内訳の件数は、学校が精査した結果の数値

２ （ ）は前年度比の増減《テスト送信は含まない》

## （２）過去の推移

|      |     | 投稿総数 | 内 訳 |      |     |     |      |
|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|
|      |     |      | いじめ | 悩み相談 | 不満  | その他 | いたづら |
| 年間合計 | R 4 | ４４３  | ２１  | ２４   | ２１４ | １７２ | １２   |
|      | R 5 | ３５３  | １８  | １６   | ８７  | ２３１ | １    |
|      | R 6 | ６０２  | ４１  | ２３   | １１２ | ４１８ | ８    |

### (3) 投稿状況

- ・容姿のことでからかわれた。(いじめ)
- ・クラスの生徒に無視された。(いじめ)
- ・人間関係で悩んでいる。笑顔で過ごせない。(悩み相談)
- ・先生に暴言をはかれた。(不満)
- ・学校で禁止されているはずのアルバイトを行っている。(その他)

- ア いじめ41件のうち、スクールサインへの投稿によって学校が知ったいじめは14件。そのうち11件において、いじめ行為が解消している。残りの3件は継続見守りとなっている。
- イ 悩みの項目では、人間関係に関する悩みなどがあつた。不満の項目には、教師に関する投稿が多く見られた。内容としては、不適切な発言や理不尽な指導、えこひいきなどがあつた。これらの投稿は、生徒たちからの貴重なSOSと捉え、学校に情報提供することで、教育相談等適切な対応に繋げている。
- ウ 投稿総数が昨年度比で249件増加している。これは、スマートフォンへの登録率調査や学期ごとの生徒への呼びかけなど周知の徹底を図ったことが大きな要因と考えられる。特にその他が187件増加している。その他の内容としては、主に問題行動に係る通報である。具体的には、校則違反に関する投稿やSNSに関する投稿などが多く見られ、インスタグラム等にあげていることから発覚したものが目立つ。学校に情報提供することで、生徒指導に繋げている。
- エ 昨年度の全投稿602件のうち、緊急対応が必要と判断した投稿は0件であつた。投稿内容により緊急対応が必要と判断した場合には、学校及び県警察等関係機関と連携し、生徒の安全を確保するとともに、その後の対応について県警察と確認し、各学校へ周知するようにしている。
- オ 昨年度の全投稿602件のうち、部活動に関する投稿は15件(いじめ1件、不満7件、その他7件)であり、前年度の23件から減少している。練習時間の長さや指導者の言動に関する投稿が多かつた。関係各課と連携しながら、学校に情報提供することで、教育相談やその後の丁寧な対応に繋げている。
- カ 学校安全・安心推進課が受けたスクールサインの投稿は当該校へすべて情報提供しており、投稿内容によっては学校に事実の確認及び、対応、報告を求めている。学校は担当者に情報共有し、必要に応じて生徒に対応している。

### 3 その他、参考となる事項

- ・令和7年度も4月に本事業の実施についてすべての県立学校の生徒及び保護者に周知(令和7年4月8日付け 教安第40号)した。さらに、各学校において、すべての保護者・生徒を対象に、スクールサインの利用案内をすぐーるで配信するよう通知した。併せて、教職員のわいせつ行為をはじめとする不祥事根絶に向けた取組として、スクールサインを相談窓口の一つとして周知した。
- ・本スクールサインだけでなく、悩み相談のため、熊本県や関係機関、民間機関等の相談窓口一覧を作成し、すべての児童生徒に周知(令和7年4月17日付け 教安第71号)した。